

# 心ふれあい SA吹田通信 211号

発行 SA吹田 ☎ 06-6388-3380 〒564-0004 吹田市原町3-7-2 小川忠夫 ogawatadaosasuita@yahoo.co.jp  
ホームページ <http://sa-renkyo.sakura.ne.jp/active/suita/index.html>  
プロダ:心ふれあいSA吹田

## クリエイティブセンターで 凧作り・凧あげ

1月9日、今年度の活動がほとんど中止になっている中で、クリエイティブセンターでの活動が先月のしめ縄づくりに続いて、凧作りが行われました。当日はコロナの関係で定員12人でした。この日は、凧あげに最適な風が吹いて、全員の凧がよく揚がり子どもたちは大喜びでした。子ども達も久しぶりに元気に走り回っていました。早くコロナが収束して、活動が当たり前に出来たらとスタッフ全員が強く感じました。



## 外出自粛の中でリモート会議

1月後半から大阪府を中心に京都、兵庫も含む1府2県で緊急事態宣言が発出される中で、SA吹田役員会や3部会もリモート会議が実施されました。時代の波に乗り、リモート会議が定着したことはSA吹田にとっても喜ばしいことであったと思います。

SA吹田役員会

国際交流部会

歌体操部会

おもちゃ部会



# 大阪府 SA 連協の紹介

SA 吹田の上部団体である大阪府 SA 連協は平成2年に創立  
活動を継続 30 周年を迎えました

大阪府シルバーアドバイザー連絡協議会



## 大阪府 SA 連協は府下20市の SA で構成

### 地区 SA(会長名)

#### 北ブロック

SA 高槻 (上田宏幸)  
SA 茨木 (中島英征)  
SA 吹田 (小川忠夫)  
SA いけだ (宮地和子)  
SA 箕面豊能 (下田英二)  
SA とよなか (藤田征雄)

#### 中ブロック

大阪市 SA (新鞍清彦)  
SA 守口 (島田道子)  
SA 寝屋川 (森田展生)  
SA ひらかた (鈴木紀夫)  
SA 交野 (田中暁子)  
SA 四條畷 (佐木晃)  
SA 大東 (野口紀子)

#### 南ブロック

SA はびきの(松田嘉威)  
SA 藤井寺 (大川正彦)  
SA 河内長野(元坂道幸)  
堺 SA (上山乃婦子)  
いずみ SA (中川明子)  
SA 松原 (杉元享)  
SA 八尾・柏原 (二葉登代子)

### 歌体操部会

### おもちゃ部会

### 広報部 ブログ研究会

SA 連協でも、SA 吹田と同じように活動部隊としては上記3部門があります。毎月、大阪各地から20地区 SA の担当者が集まり部会活動を行っています。歌体操では毎年、ブロック交流会や歌体操フェスタを実施しています。おもちゃ部会は毎月のおもちゃ教室や ATC において大規模なイベントを行い有償ボランティアの先鞭をつけています。ブログ研究会には SA 吹田は参加していませんがホームページでは大変お世話になっています。今後 SA 連協を盛り上げるために一層の役割を果たしていきます。

# 来期のコロナ収束を信じ活動の準備 助成金を申請しています 子ども夢基金に申請(おもちゃ関係)

申請している活動名	内容	参加スタッフ	参加者
1.おもちゃ学校	子どもにおもちゃつくりを教える人養成	7人	30人
2.科学実験教室	高齢者大学の専任講師による実験教室	7人×8回	40人
3.科学工作教室	電池とモーターを使った手づくりロボット	5人×11回	40人
4.低学年向教室	牛乳パック、紙コップなどは使ったおもちゃ	7人×11回	20人
5.夏休みおもちゃカーニバル	スタッフ100人でおもちゃつくり	100人×1回	300人
6.夏休みロボットまつり	ロボット6種類子ども240人6教室	30人×1回	240人
7.しめ縄つくり	本物の藁を使ってしめ縄つくり	5人×10回	20人
8.手作りお雛様	木片と和紙を使ったかわいいお雛様を作る	5人×8回	20人

## 今年度を振り返ると

今年度は総計で200万円の助成金が確定しましたが、コロナの感染拡大で活動がすべて中止になり、全額返還しました。次年度も同額程度を申請しています。ただしコロナ感染がいつ頃収束するかによって、活動の仕方に違いが出てきます。4月から開始できればいいが、遅くとも夏休みに入る前にはワクチンも出回り活動ができることを期待して準備にはいります。

## SA 連協も来年度は歌体操関係で助成金申請予定 WAM(独立行政法人福祉医療機構)に申請します。

各地区SAの高齢者施設への訪問活動について支援を行う事業を行います。府下20地区でそれぞれのSA会員が高齢者施設への歌体操ボランティアで訪問活動した場合、交通費の補助をします。

訪問施設数 100ヶ所 参加ボランティア数 300人/年間で計画します。

助成金が獲得できた場合はSA吹田の歌体操の皆様も高齢者施設へ歌体操ボランティアに行った場合は適用される見込みです。

# 会員の広場

テーマ:自由(活動・趣味・失敗談・想うこと・何でも可)

歌体操市民塾

村上正

## 医学と工学的手法の融合

昨年は新型コロナウイルスの発生で、世界中がパンデミックに陥る状態になり今も回復の兆しも見えない状態です。一方それに対してウィルスの研究は進んでいますが、まだ本格利用の域に達していないようです。ここで述べたいのは明治12年(1879年)に日本国内にコレラが大流行した時、これを抑えるために民生的上水道事業を優先したことです。それでコレラは治まり、日本の水道は世界で一番すぐれたものになりました。例えば水道水を生水で飲める国などごく僅かで、ヨーロッパの水は硬水ですので石鹼が使えないなど困難は多々あります。だから日本が一番にコロナを克服できると思っています。

国際交流部会

尾崎秀顕

ステイホームの期間に、スマホの使い方が上手くなった。電話とメールとLINEができれば良いとしていたのに、それが、ゲームをし、音楽を聴くようになった。SpotifyとかYouTubeを使うようになった。劇的な変化である。ビートルズ、キャロル・キング、クレイダーマンから始まり、ベートーベン、ショパン、辻井伸行へ変化し、駅ピアノ、広瀬香美、中島みゆき、吉田拓郎へと。ロコモーション、ブギウギ、登美丘高校バブリーダンスとなんでもかんでもになった。

めちゃ楽しくてこれが無料とは、なんたる贅沢なことか。

歌体操市民塾

手島マサエ

今から4年前、通っていた整形外科で歌体操のことを教えてもらい、興味があったので参加させてもらうことになりました。その時すでに89歳。皆さんのお邪魔になるのではと心配したのですが、温かく迎えられ休むことなく楽しく頑張っています。振付は全然覚えられず、皆さんの真似をするのが精一杯です。

娘にはその歳でなくても覚えられないから真似られるだけで上出来だと言われています。過去には発表会にも参加させてもらい、ドキドキしたことも良い思い出です。今も月2回の歌体操が待ち遠しく、日々足腰を鍛えています。いつまで行けるかわからないですが、身体の動く限り頑張りたいと思います。

## 自粛中の私とSNS

おもちゃ工房 ゆめ 馬場頼子

昨年1月、南米旅行中コロナのことを知り、人ごとのように感じていた。日本にもあつという間に広まり、4月に緊急事態宣言、外界とのライフラインが途絶えた。学校も休校になった。デイサービスのボランティアをしていることもあって不安と恐怖の中で、車でデイに通い、おもちゃ作りを始めた。子どもたちは本当に楽しみにしていたが、連日なので教材が底をついた。そんな時、ラインを通じていろいろな知り合いに教材・教具などの話をし、動画・新聞記事・諸情報を教えていただいた。友という受け皿があることで乗り切ることができた。感謝です。

**編集後記** 今年度はコロナの影響で活動がほとんどできず、会員間の交流もむづかしい状況が続きました。SA吹田通信こそが会員間の交流の絆と信じ発刊を続けてきました。ここに来て、なかなか記事が出て来なくて編集に苦労しています。ここが踏ん張りどころと思っています。小川記